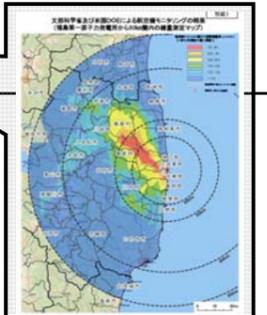


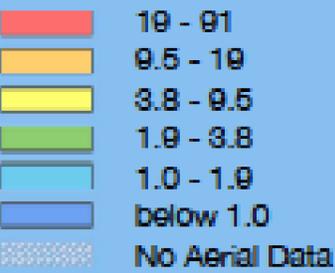
# 福島第一原子力発電所事故の環境への影響:7月14日時点

環境影響項目	～30km圏内	福島県内	近県～東日本
空間線量 空气中放射能濃度	<p>&lt;環境放射線(空間線量)の傾向&gt; 東日本各地における放射線量の経時変化については、事故発生直後をピークにその後減少。6/22時点では横ばい。分布については、福島県北西部で比較的高い状況。 各種環境モニタリング結果を原子力安全委員会が随時評価中→<a href="http://www.nsc.go.jp/nsc_mnt/index.htm">http://www.nsc.go.jp/nsc_mnt/index.htm</a></p> <p>&lt;7/13 10時文科省発表20km～モニタリング(単位: μ Sv/h)&gt; ・田村市(0.2-0.7)、葛尾村(0.9-1.7)、川内村(0.3-0.9)、浪江町(4.6-35.0)、楡葉町(0.5)、南相馬市(0.2-2.3) &lt;避難区域、警戒区域設定&gt; ・避難区域:20km圏内 ・計画的避難区域:20km圏外のうち、事故発生から1年内に積算線量が20mSvに達する恐れのある区域。 ・緊急時避難準備区域:20～30km圏内で計画的避難区域以外の区域 &lt;学校&gt;30km圏内の保育園、幼稚園、小中高等学校休校</p>	<p>&lt;7/13 10時文科省発表20km～モニタリング(単位: μ Sv/h)&gt; ・いわき市(0.1-0.3)、郡山市(0.7)、相馬市(0.4-0.5)、飯館村(14.6)、伊達市(0.2-2.4)、川俣町(0.6-3.5)、二本松市(0.5-0.8)、福島市(0.3-1.6) &lt;特定避難奨励地点&gt; ・政府は、30km圏外で20mSv/年を越える放射線量が検出されている状況を踏まえ、個別住宅ごとに「特定避難奨励地点」に指定し、住民への注意の呼びかけ、避難支援を行う方針決定。(6/16) 伊達市4地区113世帯を「特定避難奨励地点」に指定。(6/30) &lt;学校&gt; ・校庭の土入れ替え等実施。・福島県の放射線量が比較的高い52校について、モニタリング強化。(空間線量率測定、積算線量計携帯、ダストサンプリング) ・福島県内の全ての学校等に積算線量計配布。 ・政府は、1 μ Sv/h以上の学校が線量低減策実施に財政支援実施</p>	 <p>&lt;官邸HP発表各県庁所在地周辺モニタリング結果&gt; 福島県外の最高値:0.094 μ Sv/hr@山口(7/13 08:00～09:00) &lt;学校&gt; ・政府は、1 μ Sv/h以上の学校が線量低減策実施に財政支援実施</p>
土壌	<p>&lt;土壌サーベイ&gt;文科省は、広域土壌汚染マップ作成(8月公開予定)に向け土壌検査を開始。測定地域は、福島県及び隣接エリア、測定箇所は、80km圏内は2kmメッシュ、80km以遠は10kmメッシュ。</p> <p>&lt;セシウム&gt;各地でセシウム検出、特に飯館村、浪江町、川俣町、葛尾村などで、高濃度セシウム検出。 &lt;ストロンチウム&gt;福島市や南相馬市、二本松市、浪江町、飯館村など福島県内11か所の土壌から極微量のストロンチウム90検出。(6/9報) &lt;プルトニウム&gt;発電所から1.7キロ地点で、ごく微量のプルトニウム検出。(6/5報) &lt;稲の作付け制限&gt;高濃度のセシウムが検出された場所で、稲の作付け制限実施中。</p>		
農産物 畜産物等	<p>&lt;出荷制限、出荷自粛&gt; 一部の品目から暫定基準値を超える放射性物質検出。一部の野菜、原乳、ウメ、山菜、シイタケ、工芸作物について出荷制限実施中。(7/13現在)</p> <p>&lt;牧草→牛(乳用、肉用)&gt; 東日本一部地域で牧草から「粗飼料の放射性物質の暫定許容値」を超える放射性物質検出。これに伴い、牛の出荷自粛中。 福島県南相馬市の農家から出荷された肉牛から国の暫定基準値を超える放射性セシウムが検出。福島県は県内のすべての肉牛農家を対象に牛肉検査を行う方針決定。(7/12報)</p>		<出荷制限、出荷自粛> 関東地方一部地域のお茶、出荷制限中。(7/13現在)
河川(水道水)	<p>&lt;水道水&gt;水道水における放射性物質対策検討会(厚労省)は、現時点で水道水の安全性問題なしと結論。自治体などが週1回から毎日行っている検査態勢維持の方針示す。(6/13)</p> <p>&lt;淡水魚&gt;一部地域の川魚から、500Bq/kg超の放射性セシウムを検出。出荷制限実施中。</p>		
その他	<p>&lt;下水スラッジ、瓦礫など&gt; ・東日本各地の下水処理施設で発生した汚泥や焼却灰、瓦礫から放射性物質検出。方針が決定したものから、処理処分実施中。 ・柏市の清掃工場の焼却灰から7万ベクレル超の放射性セシウムが検出。埋め立て基準(8千ベクレル/kg)を超えており、処分方法検討要。東京・江戸川区と千葉県印西市でも基準を超えるセシウムが検出。(7/11報)</p> <p>&lt;側溝&gt;福島市内において、側溝の上で比較的高い放射線を検出。原子力安全委員会は側溝内の泥回収の必要性を示唆。(6/5報)</p>		
海洋	<p>&lt;海水&gt;宮城県・福島県・茨城県沖における海域モニタリング実施中。発電所放水口付近では、継続的に放射線が検出されているものの、最新の調査では沖合い30km以上の海域で放射性物質は検出されず。 海域モニタリング結果→<a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/fieldfile/2011/07/06/1305671_0706.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/fieldfile/2011/07/06/1305671_0706.pdf</a></p> <p>&lt;海底土&gt; ・宮城県・福島県・茨城県沖(30km～)の海底の土から放射性物質検出。各種 海底土モニタリング結果→<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1304148.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1304148.htm</a> ・東京電力の調査で、発電所からおよそ20km離れた場所の3km沖合い海底土から放射性ストロンチウム検出。(6/28報)文科省は、沖合い10～30km沖合いの調査実施。ストロンチウム検出されず。魚介類調査では、これまでのところ放射性ストロンチウムは検出されず。(7/6)</p> <p>&lt;海洋プランクトン&gt;東京海洋大学の調査で、いわき市沖35kmの海域で摂取した動物性プランクトンより放射性セシウム検出。濃度は6ベクレル/kgで極めて微量。(7/9報)</p>		
出荷制限/自粛品目	<p>&lt;海産物&gt; イカナゴ稚魚出荷制限(6/17) 水産庁は原発から30キロの海域を除き、福島県沖でカツオ漁を認めると関連業界団体に通知。(6/22)</p>		<海産物>茨城県イカナゴ稚魚出荷自粛。(6/17)
主なモニタリング 実施状況	<p>●国の方針(環境モニタリング強化計画:4/24災対本部)に沿って、国の機関、自治体、民間機関が連携し、多種多様のモニタリングを広域で展開中。→<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1305354.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1305354.htm</a></p> <p>○陸域モニタリング、航空機モニタリング、海域モニタリング、放射線量等マップ作成を実施中。→環境モニタリング強化計画を受けたモニタリングの強化について(5/11文科省)</p> <p>○福島県内学校においてモニタリング(積算線量計を用いた調査、ダストサンプリング、土壌モニタリング)実施中。</p> <p>○環境モニタリング結果各種→文部科学省<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/index.htm</a> ○水道水、食品モニタリング結果各種→厚労省<a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/kentoukai/houshasei_monitoring.html">http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/kentoukai/houshasei_monitoring.html</a></p> <p>○牧草モニタリング結果→<a href="http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/syoushi/bokusou_kensa.html">http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/syoushi/bokusou_kensa.html</a> ○水産物モニタリング結果→水産庁<a href="http://www.jfa.maff.go.jp/j/kakou/Q_A/">http://www.jfa.maff.go.jp/j/kakou/Q_A/</a>→<a href="http://www.jfa.maff.go.jp/j/kakou/Q_A/pdf/110713_kekka_jp.pdf">http://www.jfa.maff.go.jp/j/kakou/Q_A/pdf/110713_kekka_jp.pdf</a></p>		
主な基準・方針等	<p>・食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性物質に関する暫定基準値設定→原子力施設等の防災対策について(原子力安全委員会)<a href="http://www.nsc.go.jp/info/20100823.pdf">http://www.nsc.go.jp/info/20100823.pdf</a></p> <p>・検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方(6/27改定)→<a href="http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001h0ni-att/2r9852000001h0tr.pdf">http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001h0ni-att/2r9852000001h0tr.pdf</a></p> <p>・福島県内の学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方(4/19:文部科学省)→<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1305173.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1305173.htm</a></p> <p>・原子力災害対策本部原子力被災者への対応に関する当面の取組み方針(5/17:災対本部)→<a href="http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/torikumihoushin_110517_03.pdf">http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/torikumihoushin_110517_03.pdf</a></p> <p>・東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた廃棄物処理等に関する安全確保の当面の考え方→<a href="http://www.nsc.go.jp/anzen/shidai/genan2011/genan039/siryo2.pdf">http://www.nsc.go.jp/anzen/shidai/genan2011/genan039/siryo2.pdf</a></p> <p>・「放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方」について→<a href="http://www.meti.go.jp/press/2011/06/20110616006/20110616006.html">http://www.meti.go.jp/press/2011/06/20110616006/20110616006.html</a></p> <p>・事故発生後1年間の積算線量が20mSvを超えると推定される特定の地点への対応について(「特定避難奨励地点」)→<a href="http://www.meti.go.jp/press/2011/06/20110616007/20110616007.html">http://www.meti.go.jp/press/2011/06/20110616007/20110616007.html</a></p>		
発電所からの放出	<p>・大気中への放射性核種の放出総量推定値(原子力安全・保安院):ヨウ素131=1.6E17、セシウム137=1.5E16 【IAEA閣僚級会議への日本政府報告書(6月)より】</p>		

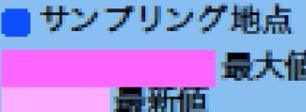
# 福島第一原子力発電所周辺の環境モニタリング

文部科学省、米エネルギー省等のデータから作成

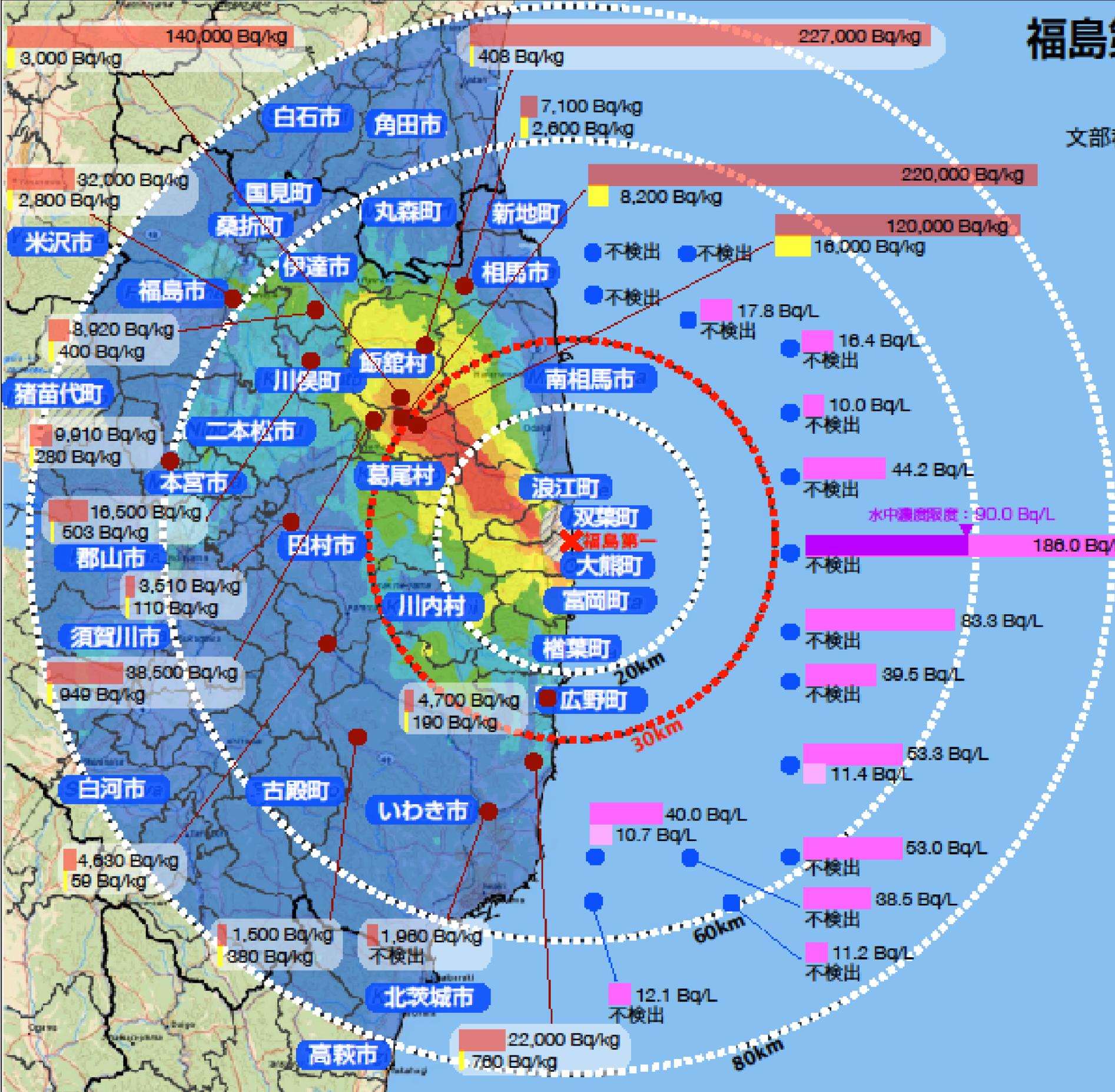
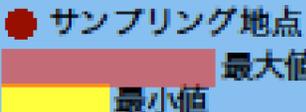
地上 1m の大気中の放射能レベル (microSv/h)  
(4月29日時点に換算)



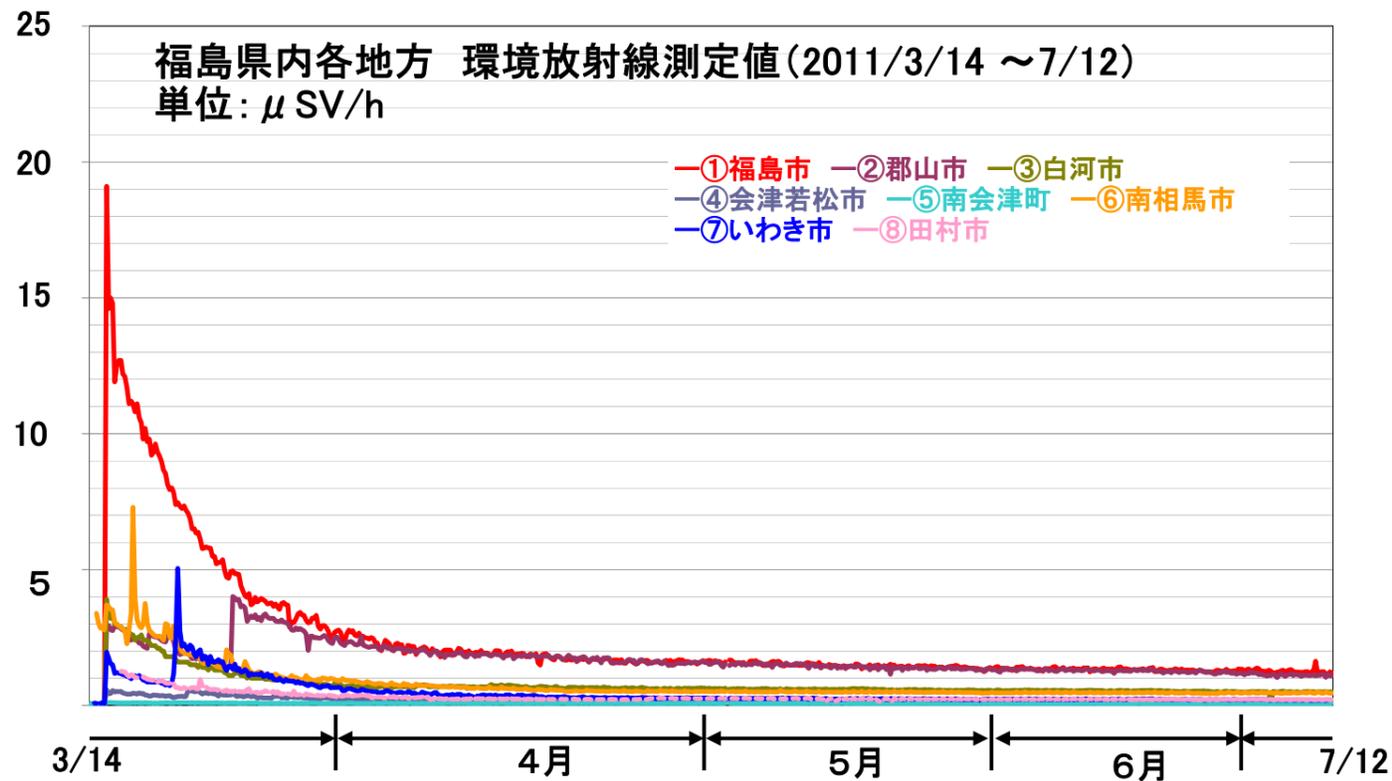
海水中 (表層) のセシウム 137 濃度 (Bq/L) の最大値および最新値 (5月7日時点)



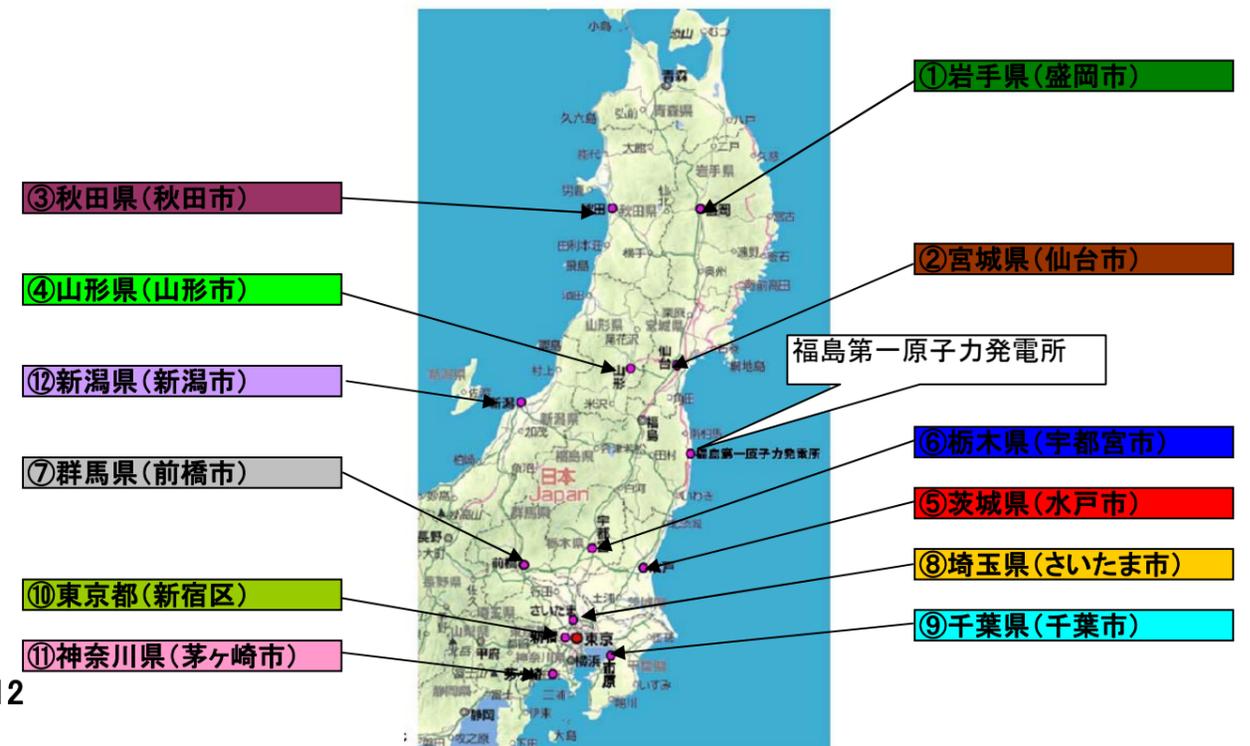
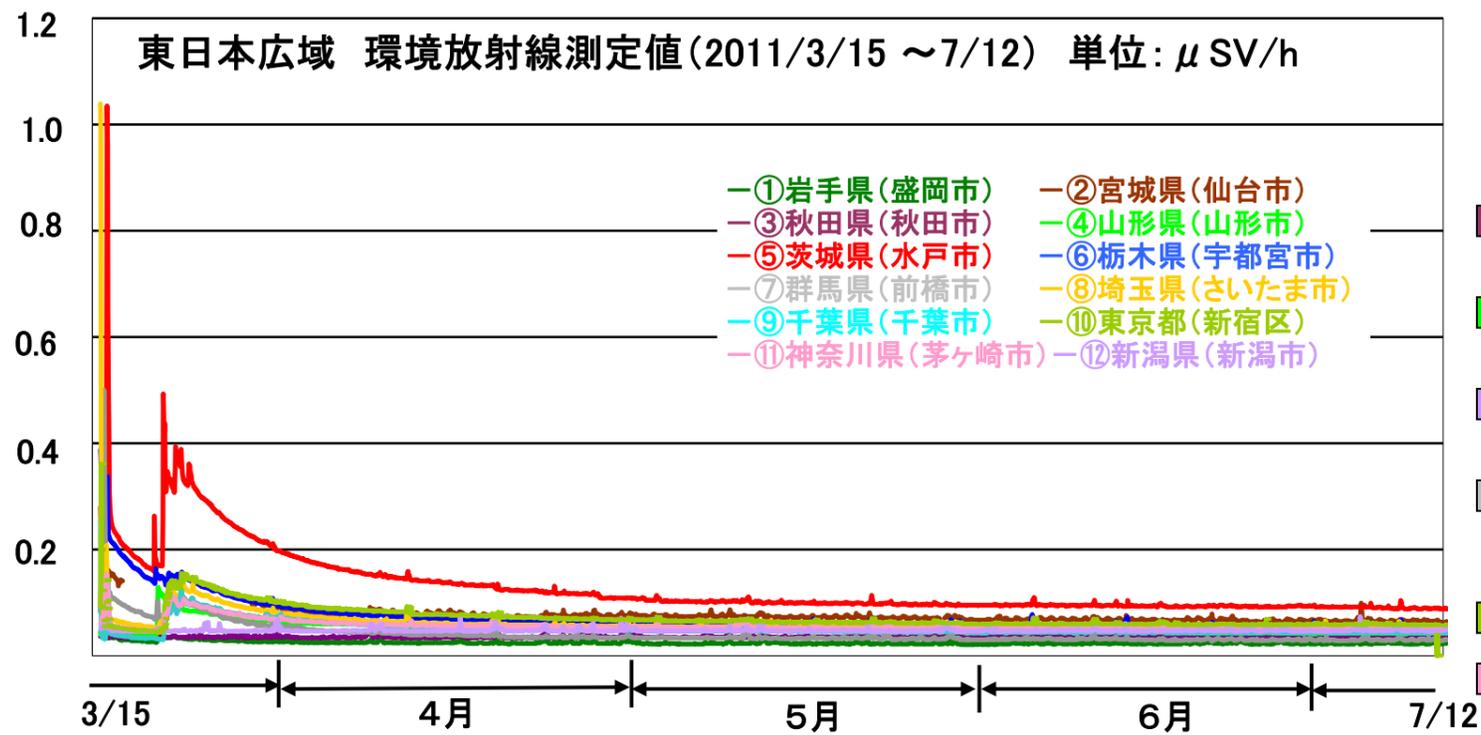
土壌のセシウム 137 濃度 (Bq/kg) の最大値および最小値 (5月9日時点)



# 各地の放射線計測値の経時変化



モニタリングポイントの位置



## 事故に伴う放射性物質汚染に対応する上で適用されている主な基準等

### <避難>

- ・避難区域: 20km圏内
- ・計画的避難区域: 20km圏外のうち、事故発生から1年以内に積算線量が20mSvに達する恐れのある区域。
- ・緊急時避難準備区域: 20～30km圏内で計画的避難区域以外の区域

### <食品・水道水>

暫定規制値(飲食物摂取制限に関する指標)

- ・飲料水: 放射性ヨウ素300Bq/kg、放射性セシウム200Bq/kg
- ・牛乳・乳製品: 放射性ヨウ素300Bq/kg、放射性セシウム200Bq/kg
- ・野菜類(根菜・芋類を除く): 放射性ヨウ素2,000Bq/kg、放射性セシウム500Bq/kg
- ・魚介類: 放射性ヨウ素2,000Bq/kg、放射性セシウム500Bq/kg

乳児用の指標

- ・水道水: 放射性ヨウ素100Bq/kg

参照:

原子力施設等の防災対策について(原子力安全委員会) <http://www.nsc.go.jp/info/20100823.pdf>

### <学校>

学校等の校舎・校庭等の利用判断における暫定的な目安: 1—20mSv/年

→屋外: 3.8  $\mu$  Sv/時間、屋内木造: 1.52  $\mu$  Sv/時間

学校内外での屋外活動制限: 3.8  $\mu$  Sv/時間

→幼稚園, 小学校, 特別支援学校: 50cm高さ, 中学校: 1m高さでの値

校庭・園庭における土壌に関する線量低減策実施への国の財政的支援: 1.0  $\mu$  Sv/時間以上

参照: 福島県内の学校等の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方について(文部科学省)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/saigaijohou/syousai/1305173.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1305173.htm)

福島県内における児童生徒等が学校等において受ける線量低減に向けた当面の対応について(文部科学省)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/saigaijohou/syousai/1306590.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1306590.htm)

### <牧草→牛(乳用、肉用)>

粗飼料中の放射性物質の暫定許容値

乳用牛: 放射性ヨウ素: 70Bq/kg、放射性セシウム: 300Bq/kg

肉用牛: 放射性ヨウ素: 農産物の出荷制限地域以外で生産\*、放射性セシウム: 300Bq/kg

\* 野菜類の放射性ヨウ素が暫定規制値(2000 Bq/kg)を上回っていない地域